

令和6年度第2回事例検討会「慢性腎不全患者の緩和ケア」アンケート

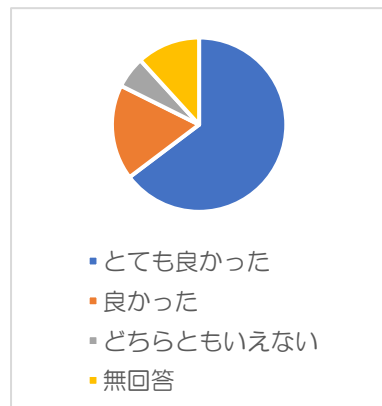
令和6年10月18日（金）15：00～16：30 戸塚区医師会館2階会議室

講師/事例提供：聖隷横浜病院 看護相談室 がん看護専門看護師 根岸恵氏

事例提供：株式会社テトテ いきいき訪問看護ステーション 緩和ケア認定看護師 財津真樹子氏

参加者22名（参加者内訳：医師1名 ケアマネジャー・主任ケアマネジャー14名 看護師6名 介護職1名）アンケート回収率77%

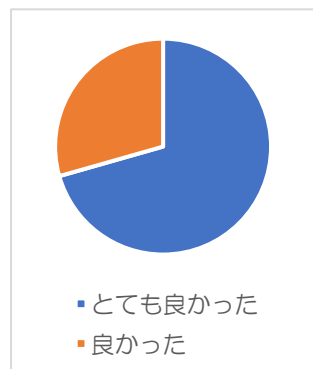
①事例検討会のテーマについてお聞かせください



【いただいたご意見】

- ★CKDのみとりについてもっと詳しく聞きたかった。 ★腎不全について深く知ることができた。
- ★透析リハビリをしているのは勉強になりました。
- ★各自みな違う立場の方とグループが一緒に視点も違い学びになった。
- ★病院と訪問看護ステーションのかかわり・連携もわかり事例も細かく参考になった。
- ★対応が簡単ではないケースだったから。 ★腹膜透析の利用者を担当しているためとてもためになった。
- ★慢性腎不全について改めて勉強になりました。講師の方の話し方はわかりやすかった。
- ★腹膜透析の実際を見たことがありません。基本的な手順を知りたいと思った。

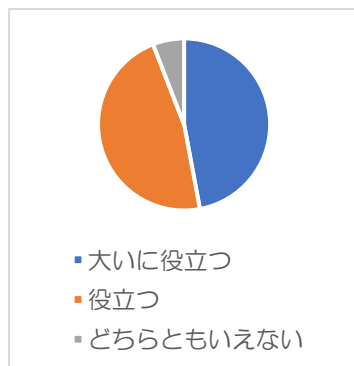
②検討方法（グループワーク）についてお聞かせください



【いただいたご意見】

- ★いろいろな職種の意見が聞けるのは非常に良かった。 ★実際に関わった看護師さんの話が聞けて良かった。
- ★特に発表などもなく様々な話をたくさんできて良かった。 ★自己紹介など、アイスブレイクの時間が欲しかった
- ★メンバーそれぞれの近況報告から事例紹介をして、病院クリニック、外来透析クリニックと様々なサービス形態があり患者さんに対するサービスも多様。その中で情報共有や連携が必要と再認識した。
- ★もう少し時間が欲しかった。
- ★発表がなかったため自由に話すことができた。 ★発表がないと焦らなくて済む
- ★他事業所の事例などが聞けて良かった。こういう場でしか関わり話ができないので。

③この事例検討会は、日頃の業務に役立つ内容でしたか。

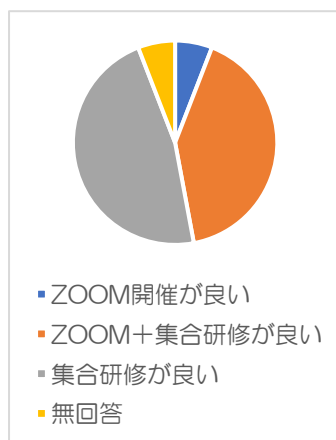


【いただいたご意見】

- ★多職種の考えを知ることができる
- ★ACPについて再度必要だと感じました。
- ★透析のことをとても学べた。 ★がん末期の方の利用が少ないため
- ★透析をしている方、今後必要そうな方がいるので参考にさせていただきます。
- ★私自身の周りで透析をやめたいという方がいなかったなのでこのような講師の話はとてもよかった。透析クリニックと連携していこうと思いました。

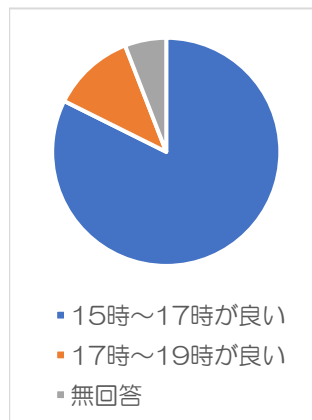
④後の開催方法はどのような形が良いと思いますか

⑤開催時間についてお聞かせください



【いただいたご意見】

- ★利便性が良いので (zoomが良い)
- ★名刺交換など交流ができるので (集合研修が良い)
- ★午後であれば調整しやすい



⑦今後の事例検討会、研修で取り上げてほしいテーマや相談室へのご意見などご記入ください。

★非がんのみとり ★精神の事例等（家族への対応、本人への対応）

★ターミナル困難事例（家族とのかかわりが難しかった・家族と本人との意見の違いなど）

★セクハラをする男性利用者が増えていて、最近では受け入れを断る事業者さんが増えている。ケアマネとしてプランを作っても受け入れる側がないので支援ができなく皆さんどうしているのか知りたい。薬で何とかできないのか？

皆様ご協力ありがとうございました。